

関係者の方にインタビュー！

「四国中央市子ども若者未来応援計画パレット・プラン」策定にもご尽力いただいた、四国中央市障害児等福祉審議会委員の皆さまに、今回、パレットが完成したことに伴い思いを述べていただきました。



市障害児等福祉審議会副委員長 藤枝俊之さん



支援者には、一人ひとり違う困りごとをしっかりと理解し、関係者で手をとり合ってあたたかな支援ができるよう期待しています。時代のニーズに応じた施策や支援の在り方を模索し、まちの過ごしやすさを追求するパレットであるよう望みます。困りごとのある子ども達とパレットを、市民みんなであたたかく見守り応援してください。

市障害児等福祉審議会委員長 東 誠さん



パレット建設やプラン策定は、本市が培ってきた子どもの健全育成や福祉をさらに進展させるためのリスタートだと考えています。寄せられる期待が大きい分、課題が生まれてくると思いますが、一部の人のだけでなく広く市民のみなさんに考え支えていただき、だれもが住み良いあたたかいまちを作っていく契機になるよう願っています。

市障害児等福祉審議会委員 森川恵里さん



立派な施設を造っていただき感謝しています。これからパレットに携わる人材の充実に期待しています。子どもの障がいや保護者の思いも実に多様であり、すべての願いをプランに表現するのは難しく、積み残した宿題はありますが、これからも保護者や支援者との交流を広げながら、みんなの気持ちを届け、盛り立てていきたいです。

建物概要

- 所在地：下柏町 749 番地 2
- 敷地面積：3,637.59㎡
- 建築面積：813.00㎡
- 延床面積：2,006.19㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造3階建て



相談室（幼児）



遊戯室



コンピューター室

問い合わせ先

- ◆発達支援課
 - 子ども若者発達支援センター（代表） 28-6029
 - 子ども若者総合相談センター 28-6266
 - 児童発達支援センター 28-6026
 - 東部子どもホーム 28-6026
- ◆少年育成センター 28-6064
- こども支援室 28-6188



子ども若者発達支援センター (愛称:パレット)が完成しました！



旧消防本部跡地（下柏町）に、子ども若者発達支援センターが完成しました。
この建物は、障がいの有無にかかわらずそれぞれが有する特性により、社会生活を送るうえで何らかの困りごとがある子どもや若者相談のワンストップ化、幼児期から社会生活期までの一貫した支援などを行うため、市の関連部署を集約した施設です。施設の愛称はPalette（パレット）としています。
パレットとは、子どもたちのさまざまな個性や特性が集まり、成長や発達を支援し、社会へ送り出すための準備の場を「いろいろな色を置き、混ぜ合わせて新しい色を創り出し、キャンバスにもっていくためのパレット」に例えたものです。
4月5日に開所式を行い、順次サービスを開始していきます。

「パレット」公式フェイスブックを始めました！
子ども若者発達支援センターを含む本市の子ども・若者の福祉に関する情報をフェイスブックでもお届けします。広報紙や市ホームページと併せてチェックしてください。
<https://www.facebook.com/palette.shikokuchuo/>

就学のお子さんを対象とした療育を、今年度からパレット内の児童発達支援センターで提供します。
東部子どもホーム
昨年度までかわのえ通園ホーム、みしま親子ホーム、発達支援室で提供していた学齢児のお子さんを対象とした療育を、今年度からパレット内の東部子どもホームで提供します。なお、どの子どもホームは西部子どもホームと改称して引き続きサービスを提供していきます。
少年育成センター・こども支援室
不登校・登校しづり、その他少年に関わるさまざまな相談に応えます。
コンピューター室
休止していた適応指導教室コンピューター室をパレットで再開します。適応指導教室キトリは、コンピューター室の中で引き続き実施していきます。



2/23 (木) パレット・プラン答申式

市長室で2月23日、「四国中央市子ども若者未来応援計画パレット・プラン」の答申式が行われました。この計画は、障がい児などの福祉施策を、総合的かつ計画的に推進していくための本市独自のものです。四国中央市障害児等福祉審議会で14回の審議とタウンコメントを経てまとめられました。答申式では審議会の代表委員から篠原市長に計画が手渡されました。篠原市長は、「実際に子どもたちのプラスとなるように、みんなで協力して必要な施策を展開していきます」と話していました。